

National
Parks
of Japan



湯あみ着を着た人
だけが入浴できる日

男女とも
全員着用です

酸ヶ湯温泉 湯あみ着の日

混浴「ヒバ千人風呂」において、今後も混浴文化を守るために、男女ともに湯あみ着を着用してもらう試みを、4日間限定で実施します。未着用での入浴はできませんので、ご協力のほどお願いします。

開催日時 **2023年**

第1回 **1月 20日(金) 21日(土)** 第2回 **2月 26日(日) 27日(月)**

全日10:00 ~ 15:00 ※当日配布分の湯あみ着がなくなり次第終了

料 金

通常の日帰り入浴料金(1,000円/人)のみ
湯あみ着レンタル無料

※湯あみ着・水着等の持ち込み不可(酸ヶ湯売店で購入したもののみ可)

「湯あみ着の日」とは？

酸ヶ湯温泉「ヒバ千人風呂」で、すべての男女に湯あみ着を着用して入浴していただく試みです。

本来、性別の垣根を越えてリラックスできる混浴は、日本の大切な文化です。一方で、時代とともに珍しくなった混浴に抵抗を感じ、避ける人や戸惑いを感じる人が女性や若い方を中心に増えているのが現状です。今回、湯あみ着を導入することにより、これまで混浴を避けていた、気を使ってゆっくりできないといった方々にも入浴してもらう機会を設けます。将来にわたって皆さんから愛される混浴を受け継いでいくための試みです。

こんな声がありました



女性・40代

混浴に入る勇気がなく、女性専用にだけ入った



男性・50代

見るとか見せるとかじゃなくて、ただ温泉を楽しみたい



多数女性

視線を感じ、ゆっくりできなかった



男性・50代

女性が迷惑に感じずに入れるなら、湯あみ着を着るべき



女性・60代

笑顔で混浴しているポスターのように、ゆっくりできるようにあってほしい



男性・50代

女性は入りづらいが、一番良い湯船の熱湯にも入ってほしい

湯あみ着の日に関するQ&A

Q 湯あみ着って何ですか？

A 入浴する際に着るもので、近年、混浴で男女ともに着用する温泉が増えてきています。今回は以下の写真のものをレンタルします(無料)。

※湯あみ着・水着等の持ち込み不可
(酸ヶ湯売店で購入したもののみ可)

女性用



男性用



Q 誰が着るのですか？

A 着たい方だけでなく、ヒバ千人風呂に入るすべての男女が対象です。ヒバ千人風呂をすべての方に安心して楽しんでいただくための試みですので、ご協力をお願いします。キッズ用も用意しています。

Q なぜ湯あみ着を着るのですか？

A 男女とも裸で入浴することに対し、「見られる」ことだけでなく、「見える」ことに抵抗を感じるという声に対応し、誰でもリラックスして楽しめる混浴の実現に向けた取組です。

Q 期間中は裸では入れないのですか？

A 湯あみ着の日の10時～15時の間は必ず湯あみ着を着ていただきます。未着用での入浴はできません。着用が難しい方は、上記以外の時間帯、または男女別の「玉の湯」をご利用ください。

Q 温泉は裸で入るものではないのですか？

A かつては湯巻(ゆまき)や湯文字(ゆもじ)という湯あみ着の様なものをつけて入っていた記録もあります。なにより、誰もがリラックスできる空間をみんなで作っていくことが大切だと考えています。

Q 今後、湯あみ着は必須になるのですか？

A 今回は4日間のみの取組です。今回の皆さまの声を参考に、どのように混浴を守っていくことができるか考えていきます。

「10年後の混浴プロジェクト」について

環境省では、北東北3県にまたがる十和田八幡平国立公園に多く残る湯治・混浴文化を将来に渡って守っていくことを目指し、混浴が抱える課題を解消するため、「10年後の混浴プロジェクト」を推進しています。

女性や若い方のみならず、性的マイノリティ、外国人観光客等にとっても利用しやすく、誰でも楽しめる混浴の実現を目指し、昨年度に引き続き酸ヶ湯温泉を舞台に調査・検討を行います。

このことは、SDGsにも合致する取組であり、本プロジェクトを通じて、混浴の価値の深化と文化の継承の実現を図っていきます。

